



～市民と響き合う議会～

八王子市議会だより

令和2年(2020年)
第4回定例会

No.260

令和3年(2021年)
2月1日発行

特集

議会報告会@ひびき

定例会では新型コロナ対応の
補正予算などを可決

「初雪舞う駒木野庭園」(裏高尾町／高尾駒木野庭園)

今号は、西寺方町在住の古川 仁洋さんの作品です。

 高尾駒木野庭園

旧甲州街道が通る裏高尾町にあり、枯山水や露地を備えた本格的な日本庭園では、四季折々の花や野草、盆栽などが楽しめます。冬には、雪の重みから樹木の枝を守る雪吊りが施され、日本庭園ならではの雪化粧も。

令和2年 第4回定例会

本会議

市長提出議案76件を可決

2年第4回定例会は、11月30日に開会し、本会議で議案や請願等を審議し、市長提出議案76件と議員提出議案1件を可決しました。可決した市長提出議案のうち、委員会への付託を省略した議案は次のとおりです。

●全議案の審議結果は4ページへ

可決した付託省略議案

- 市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- 期末手当の年間支給月数を引き下げ
- 市長等の給与に関する条例の一部改正
- 職員の給与に関する条例の一部改正
- 後期高齢者医療に関する条例の一部改正
- 介護保険条例の一部改正
- 一般職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部改正
- 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正



本会議の様子

議員提出議案

議員提出議案は、意見書2件を審議し、1件を可決して、議長名で政府に提出しました。

可決した意見書

■核廃絶に向けた取り組みを求める意見書

核兵器禁止条約に対する貢献のあり方の検討を

核兵器の開発など、核兵器にかかわる活動を禁止する核兵器禁止条約が、2021年1月に発効されることになった。核廃絶に向け、唯一の戦争被爆国の我が国が、核兵器国と非核兵器国との「真の橋渡し」の役割を担うため、我が国の具体的な貢献のあり方の検討などを政府に強く求めるもの。

請願

提出された請願1件は、厚生委員会へ付託し、審査を行った後、本会議で不採択となりました。

不採択とした請願

○いのちと健康を脅かす高すぎる国民健康保険料(税)の引き下げを求める請願書

●主な内容は3ページ「厚生委員会」へ

委員会

常任委員会で付託議案を審査

本会議で付託された一般会計補正予算など市長提出議案69件及び請願1件は、各常任委員会で慎重に審査を行いました。主な審査状況は次のとおりです。

総務企画委員会

開催日 12月7日

■一般会計補正予算

財政調整基金に積み立てる経費を増額

問 今回の補正で積み立てる2年度末現在高の見込み額は、約92億円となるが、今後の施策

などに向けて実際に活用できる金額は。

答 基本的には全額活用が可能であると考えている。

結果 可決すべきものと決定

■市民会館の指定管理者の指定

■市民集会所の指定管理者の指定

市民会館の指定管理者を指定

問 これまでの指定管理者は、(株)共立と(株)NTTファ

シリテイズで構成される共同事業体であったが、今回の指定管理者に、(公財)学園都市文化ふれあい財団が加わるメリットについて聞きたい。

答 市民会館では、地域密着型の自主事業も実施しているが、財団は、もともと地域の文化連盟などの団体との連携が深いため、財団を加えた共同事業体となることで、地域密着型の事業においては、今まで以上に効果が発揮されるものと期待している。

市民センター及び地区会館の指定管理者を指定

問 町会会館は町会が管理を行うが、地区会館を指定管理者で管理する理由は。

答 町会会館とは異なり、地区会館については、市の施設であるため指定管理者で管理している。

問 市民センター等に対する指定管理料の提案額は、2年度の協定金額に比べてかなり上がっているが、どのような理由があるのか。

答 指定管理料の上昇は、市民センターの窓口業務員を増やすなど、運営者側の人件費の増のほか、災害対策用として、市民センターの体育室に、市が新たに設置した空調機の燃料代が計上されていることが大きな要因と考えている。

結果 可決すべきものと決定

文教経済委員会

開催日 12月7日

■一般会計補正予算

第二小・第四中改築の事業費を翌年度に繰り越し

問 地域等の意見を聴取する改築検討委員会が新型コロナウイルスの影響で延期され、基本設計が年度内に完了しないとのことだが、検討委員会だけでなく、広く地域や保護者に計画を説明することが必要ではないか。

答 委員には町会長やPTA会長等が入っているが、委員会とは別に、地域や保護者に

説明することを検討している。

問 小中一体型の校舎に改築するとのことだが、義務教育学校となるのか。

答 第四中の敷地に一体型校舎を整備するよう計画しており、義務教育学校を目指す方向で進めていく。

新型コロナの影響で中止したイベント経費を減額

問 イベントを中止するだけではなく、方法を変更して開催するなど、観光全体を捉え、経済活動にもつなげる考えは。

答 大勢が集まるイベントは中止しているが、観光を楽しんでもらうことは必要と考えている。日本遺産をテーマとした少人数での体験ツアー等、できる事業から実施している。
結果 可決すべきものと決定

■いずみの森義務教育学校校庭整備工事請負契約の締結

いずみの森義務教育学校の校庭を整備

問 工期が遅れて子どもたちの学びに影響がないようにしてもらいたい。約1年間という工期は適正なのか。

答 今回の整備以外に、校庭には防災倉庫等も建築することとしているが、適正な工期



9年間で一貫した教育を行ういずみの森義務教育学校

と認識している。
結果 可決すべきものと決定

《報告事項》

◇郷土資料館仮展示場（日本遺産センター）の進捗状況

厚生委員会

開催日 12月8日

■保育園の指定管理者の指定（2件）

各保育園の指定管理者を指定

問 管理者を選考する評価項目に、コロナ対応を盛り込む考えは。

答 今後も公募等を行う施設があることから、コロナ禍の状況を見ながら、評価項目に盛り込むか検討したい。
結果 可決すべきものと決定

■児童保育所の指定管理者の指定（45件）

児童保育所の指定管理者を指定

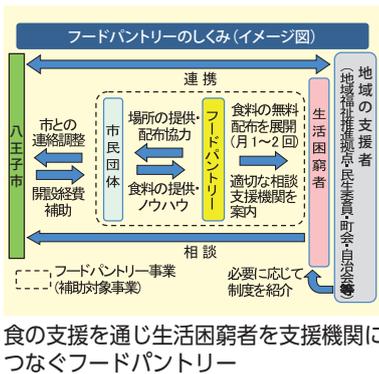
問 職員体制のバランスや継続性が優れているという評価項目があるが、現場の職員の入れ替わりの頻度などをどのように考えているのか。

答 職員が定着して長年携わることが、保育の継続性と考えている。市からもアドバイザー等を行い、定着率を上げて、安定した保育を実施できるように努めている。
結果 可決すべきものと決定

■一般会計補正予算

生活困窮者への食料提供事業の経費を補助

問 補正予算でフードパントリー開設補助を行う理由は。



食の支援を通じ生活困窮者を支援機関につなぐフードパントリー

答 市民団体等と相談しながら検討を行ってきたが、事業の枠組みができあがったことに加え、コロナ禍の中で生活困窮者の増加が予想されることから、今回補正することとした。

精神保健等の相談記録システムを導入

問 システム導入の経緯について聞きたい。

答 コロナ禍の現在、精神保健等の担当保健師が、感染症担当の応援を行い、他の職員が相談対応する機会が増えている。相談内容は紙で記録しているが、電子化により、支援状況等の速やかな把握が期待できることから、早期に導入すべきと考えた。
結果 可決すべきものと決定

◎請願

■いのちと健康を脅かす高すぎる国民健康保険料(税)の引き下げを求める請願書

国や都に国保税を引き下げる財政支援の要望を

高すぎる国民健康保険(国保)税は、加入世帯の生活を苦しめており、全国知事会等も国の財政支援による国保税の引き下げを求めている。よって、市においても国や都への財政支援強化

の呼び掛けや、子どもの国保税軽減のため、市独自制度の創設を求めるもの。

問 国保会計の赤字補填のため、元年度は国保加入者一人当たり2万円を超える額を一般会計から繰り入れている。これ以上の市独自の取り組みは、税の公平性の観点から、疑問に感じるがどうか。

答 一般会計からの繰入金金を減らすため、毎年、やむを得ず行っている国保税の値上げは、国保加入者以外の市民との公平性を鑑みてのことである。

問 自治体が政策として行う国保税減免のための繰り入れは、国等が削減を求める赤字補填の繰り入れには当たらない。子どもの国保税(均等割)の減免を行う考えは。

答 政策として行う国保税減免については、赤字補填には当たらないが、本市の減免の考え方は一時的な生活困窮の場合であり、所得によらない均等割の減免は想定していない。均等割の軽減は国の責任で実施するものと考えており、市長会を通じて要望している。
結果 不採択とすべきものと決定

《主な報告事項》
◇特定健康診査・がん検診等の受診期間の延長

都市環境委員会

開催日 12月8日

■都市公園の指定管理者の指定 (3件)

― 都市公園の指定管理者を指定

問 選定された指定管理者候補者の評価で、点数が低い項目があるが、今後、どのように改善させるのか。

答 管理者との基本協定の締結の際に協議を行い、改善できるように対応したい。

結果 可決すべきものと決定

■市営駐車場の指定管理者の指定

― 市営駐車場の指定管理者を指定

問 市営駐車場に利用料金制を採用する目的は。

答 利用料金制は、利用料金が入り、管理者の収入となるが、管理者の努力が利潤につながる。これにより、利便性が向上し、利用者への還元が期待できるためである。

結果 可決すべきものと決定

《主な報告事項》

◇道路照明灯・園内灯省エネ化整備事業の開始

令和2年(2020年) 第4回定例会 議案等の審議結果一覧		会派の賛否						結果		
		自民党	公明党	市民ク	共産党	立憲民	諸 派			
市長提出議案 76件		付託委員会	14人 ^{※1}	10人	4人	4人	3人	4人		
2年度補正予算	一般会計補正予算(第6号)	全								
	国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	厚	○	○	○	○	○	○	可決	
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	総								
条例 (主な内容)	後期高齢者医療に関する条例の一部改正(後期高齢者医療保険料の延滞金の割合の特例に関する規定の文言修正)	一								
	介護保険条例の一部改正(介護保険料の延滞金の割合の特例に関する規定の文言修正)									
	職員の給与に関する条例の一部改正(都人事委員会勧告に準拠し、期末・勤勉手当の年間支給月数の引き下げ)									
	市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正(職員の改定に準拠し、期末手当の年間支給月数の引き下げ)		○	○	○	○	○	○	可決	
	市長等の給与に関する条例の一部改正(職員の改定に準拠し、期末手当の年間支給月数の引き下げ)									
	一般職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部改正(新型コロナウイルスに関する特殊勤務手当の特例支給期間の延長)									
	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正(新型コロナウイルスに関する報酬の特例支給の規定の文言修正)									
	地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正(子安町三丁目地区の追加、北野台地区の規制内容等の変更)		都							
契約	いずみの森義務教育学校校庭整備工事請負契約の締結	文	○	○	○	○	○	○	可決	
指定管理者	指定管理者の指定【7件】(市民集会所、市民会館、芸術文化会館、南大沢文化会館、学園都市センター、夢美術館、市民活動支援センター)	総								
	保育園の指定管理者の指定【2件】(石川・長房西保育園)	厚								
	指定管理者の指定【4件】(高齢者在宅サービスセンター長沼・石川、心身障害者福祉センター、障害者療育センター)									
	学童保育所の指定管理者の指定【42件】(八木町・千人町・子安・寺町・台町・中野・清水小・大和田小・第十小・東浅川小・浅川・下柚木・由木・由木東小・松が谷・南大沢・南大沢西・宮上・まつぎ・長池・秋葉台・別所・長房・船田小・桐田小・館ヶ丘・寺田・上巻分方・元八王子東小・元八王子・川口・つくみ・美山小・加住小・由井・片倉台・由井かたくら・七国小・北野・高嶺小・石川・久保山学童保育所)		○	○	○	○	○	○	可決	
	都市公園の指定管理者の指定【2件】(千人町桑の実公園ほか北西部地区公園190施設、いちよう公園ほか南西部地区公園128施設)		都							
	市営駐車場の指定管理者の指定		文							
	体育館の指定管理者の指定(甲の原体育館)		厚	○	○	○	×	○	○	可決
	学童保育所の指定管理者の指定【3件】(鹿島・横山・みなみ野学童保育所)		都	○	○	○	×	○	○3×1	可決
	都市公園の指定管理者の指定(戸吹スポーツ公園)									
	議員提出議案 2件		付託委員会	自民党	公明党	市民ク	共産党	立憲民	諸 派	結果
意見書 ^{※2}	核廃絶に向けた取り組みを求める意見書		一	○	○	○	×	○	○	可決
	日本学術会議会員の任命拒否の撤回を求める意見書		×	×	×	○	○	○3×1	否決	
請 願 1件		付託委員会	自民党	公明党	市民ク	共産党	立憲民	諸 派	結果	
件名	いのちと健康を脅かす高すぎる国民健康保険料(税)の引き下げを求める請願書	厚	×	×	×	○	×	○3×1	不採択	

○：賛成 ×：反対

<会派名>

自民党：自民党新政会 公明党：八王子市議会公明党 市民ク：市民クラブ
共産党：日本共産党八王子市議会議員団 立憲民：立憲民主・市民の会 諸 派：会派に所属しない議員

<付託委員会>

総：総務企画委員会 文：文教経済委員会 厚：厚生委員会 都：都市環境委員会
全：4常任委員会(総・文・厚・都) 一：付託せず

※1 議長を除く
※2 意見書の全文はこちら⇒



市政について聞く

一般質問

11月30日から4日間にわたり、29人の議員が市政について一般質問を行いました。質問の中から内容の関連したものを取りまとめ、その要旨を掲載しています。



防災

事前防災の取り組みは

問 台風や地震など、大規模な自然災害に備える事前防災の取り組みは。

答 事前防災には、地域防災力の向上が不可欠と考えている。そのため、自主防災組織で構成される団体と連携しながら、自主防災組織間の連携強化と地域の防災リーダーの養成に重点的に取り組んでいる。また、職員については、庁内の訓練を通じて、防災知識の習熟と行動力の向上に取り組んでいる。

かまどベンチの設置は

問 かまどベンチは、平常時にはベンチとして使用し、災害時には、かまどとして炊き出しなどに利用可能となる。町



災害時には座面等を外して利用できるかまどベンチは、市内の公園にも

会や自治会が、身近な公園にかまどベンチを設置することはできるのか。

答 公園の機能を損なわない範囲で、町会や自治会が維持管理を行う場合には、既に設置している防災倉庫と同様に、申請の上、設置することは可能である。

防災体制の充実のために

問 台風などで甚大な被害を受けた各地の中核市が行ってきた災害対策の事例を、本市の防災の取り組みにいかしてもらいたいだろうか。

答 他市での教訓や課題、効果のあった事例から、行政の臨機応変な対応と、地域防災力の強化の必要性を改めて感じている。事例は、消防団などと共有し、公助としての災害対応力を高めるとともに、地域の防災リーダーを養成する研修会などで活用していきたい。

行財政改革

システム標準化への対応は

問 国は、住民基本台帳の管理など、比較的定型の17分野の業務について、システムの仕様を統一し、標準化を目指し

国が示す標準化対象の17分野のシステム

■住民記録	■介護保険	■児童手当
■個人住民税	■障害者福祉	■児童扶養手当
■法人住民税	■国民年金	■子ども・子育て支援
■軽自動車税	■生活保護	■就学
■固定資産税	■健康管理	■選挙人名簿管理
■国民健康保険	■後期高齢者医療	

国のスケジュールでは、7年度までにシステムの標準化を完了

ているが、本市での課題は。

答 国のスケジュールに合わせ、限られた期間で計画的にシステムを入れ替える必要がある。また、全国の自治体が高齢時に取り組むため、事業者の確保が課題と考えている。

行財政改革の取り組みは

問 コロナ禍により財政運営の厳しさが増す中、新型コロナウイルスへの対応やDX※など、しっかり推進すべき分野には予算を重点的に配分することが重要と考えるが、3年度予算の編成方針の考え方を聞きたい。

答 新型コロナウイルスの影響を受けた市民生活、地域経済を回復し、デジタル化やオンライン化など、次世代型行政サービスの構築に重点を置くことを議論し、方針に反映した。

問 財政運営の厳しいこの時期を抜本的な議論の好機と捉え、行財政改革を根底から進めるべきと考えるがどうか。

答 現在の行財政改革大綱に掲げている取り組みだけではなく、より多くの視点を持って改革を進める必要があると認識している。限られた資源を適切に配分し、必要なサービスを継続的に提供できるように、さまざまな改革に努めていく。

将来に備えた公共施設管理を

問 公共施設の維持管理や更新を計画的に行う公共施設マネジメントについて、将来への備えに対する考えは。

答 公共施設マネジメントは、基本方針や推進計画に基づき、行財政改革の重要な取り組みとして着実に進めてきた。一方、人口減少や少子高齢化などに加え、コロナ禍における新たな生活様式への対応が急速に進んでおり、持続可能な成熟都市を目指すに当たっては、資産の有効活用など、公共施設マネジメントを強力に推進していく。

※DX(デジタルトランスフォーメーション)は情報通信技術が浸透することで、人々の生活があらゆる面でより良い方向に変化すること。

質 問



議員席の前に設置した発言席で行う一般質問のようす（一問一答方式）

文化財防災

災害から文化財を守って

問 近年、各地で地震や台風等で文化財が大きな被害を受けている。2年1月に策定した、歴史文化基本構想での文化財防災の考えは。

答 基本構想では、文化財の防災・防犯対策を強化する方針を定めている。今後とも歴史をいかしたまちづくりを進めるため、所有者や消防署等だけではなく、地域とも連携し、未来につながる文化財防災に取り組んでいく。

問 八王子駅南口集いの拠点に計画中の歴史・郷土ミュージアムは、重要文化財等を展示できる環境を目指しており、文化財防災の取り組みは極めて重要と考えるがどうか。



貴重な文化財を災害から守る（相即寺での防火訓練）

答 特に火災・水害・虫害から収蔵物を守ることは重要と考えている。歴史・郷土ミュージアムは、より高度な環境整備等が必要となるため、構想及び計画の段階から国と調整しており、災害から文化財を守るために万全を期す考えである。

子どもの教育

コロナ禍の中でも学びを

問 コロナ禍による学校の臨時休業中からSNSの利用が増え、性暴力に巻き込まれる児童・生徒が増加している。子どもを性暴力の当事者にならないための安全教育の取り組みは。

答 これまでも関係機関と連携し、性に関するトラブルなど、SNSによる被害から子どもを守る取り組みを行ってきた。今後は、情報リテラシーに関する教育を、性暴力の当事者にならないための安全教育の視点で充実させ、社会的環境の変化に伴う教育活動の改善を進め

※情報リテラシーインターネッ ト等から必要な情報を取捨選択し、その情報を十分使いこなす能力。「リテラシー」は読み書き能力の意味。

ていく。
問 外遊びや部活動で体を動かすことは、身体的・精神的発達に大きな影響があり、コロナ禍の中でも体を動かせる環境整備が必要と考える。子どもたちの身体や体力について気になる傾向はあるか。

答 臨時休業明けには学校現場から、運動不足による子どもたちの体力低下を心配する声があった。感染防止対策を徹底し、できる限り通常の教育活動を行い、体育の授業や部活動等を通じて体力の増進を図るなど、積極的に体を動かす機会の確保に努めている。

問 修学旅行等の実施を含め、コロナ禍の中でも感染拡大を正しく予防しながら、子どものさまざまな学びを止めないことが大切と考えるがどうか。

答 コロナ禍においても、子どもたちの発達や成長のため、安心して学べる環境を保障する必要がある。リスクがあるから実施しないのではなく、実施可能な方法を医療機関等と連携して考え、前向きに学校教育を進めていく。

放課後子ども教室の人材は

問 放課後子ども教室では、地域で子どもを育てるとの考えで、小学校を活用し、放課



地域の大人が見守る中、自由に遊ぶ子どもたち（第三小の放課後子ども教室）

後の安全な居場所を提供している。実施日数等の拡充には、協力してもらう地域住民が欠かせないが、人材確保は。

答 学校と相談し、地域で協力できる方を紹介してもらうなど、地域のさまざまな立場の方にかかわってもらえるよう働き掛けを行っている。

ICT端末使用時の対策は

問 今後、学校では一人1台のコンピュータ端末を活用して学習を進めることになるが、端末を使用する際の子どもたちの姿勢や、視力低下への対策は行っていくのか。

答 国が示している、姿勢に関する指導の内容や、教室の明るさなどの環境面の留意事項を、本市が作成を進めているICT活用の手引きにも記載し、学校への周知を図っていく。

本市議会の一般質問は

- 質問内容** 本市の行政全般にかかわる事務の執行状況や将来の方針等への疑問や提案など（議案に関しない質問に限る）
- 質問時間** 答弁を含め、一人当たり60分以内
- 質問方法** ①一括質問方式（演壇で行い、3回まで可能）
②一問一答方式（発言席で行い、回数制限なし）
③1回目は演壇で一括質問、2回目以降は一問一答方式の3通りから議員が選択

一 般

子ども・若者

子育てしやすいまちに向け

問 元年10月からスタートした幼児教育・保育の無償化は1年が経過したが、本市の保育需要等にどのような変化があったのか。

答 2歳児から幼稚園を選択する家庭が増えている。これは保育園では一部を除き、3歳になっても年度内は無償化の対象ではないが、幼稚園では、3歳の誕生日以後の保育料が対象となったためである。また、幼稚園の預かり保育も対象となったため、働きながら子育てを行う家庭が、幼稚園も選択できるようになったことが要因と考えている。

問 児童館は、子育て支援の拠点としての役割を担うとのことだが、その配置は地域に偏りがあるのではないかと。

答 児童館配置に地域の偏りがあることは認識している。老朽化も進んでおり、他施設との複合化や機能移転等を踏まえ、児童館のあり方と合わせ、配置の見直しを進めていく。

問 子育てしやすいまち八王子として、子どもたちが健康やかに成長できるまちづくりを

目指してもらいたいと思うか。

答 学童保育所等の放課後の居場所を充実してきた結果、子どもたちが笑顔で伸び伸びと活動できる環境整備が進んだ。子育て支援施策と、遊びを通じた子どもの自主性や社会性の育みの両輪があつてこそ、健康やかな成長ができるまちづくりにつながると思っている。施策を一層充実させ、子どもたちが夢を持てる未来を築いていく。

新たな若者支援の体制は

問 本市は若者総合相談センターを開設したが、支援体制について聞きたい。

答 キャリアコンサルタントや公認心理師等の有資格者で、若者支援の経験豊かな専門相談員を4名配置している。相談内容に応じて、その専門性に対応できる体制となっている。



若者のさまざまな悩みをワンストップで受け止める若者総合相談センターが開設

医療・健康

市のコロナ対策は

問 全国の病院・施設内で、新型コロナウイルスの感染者が増えている。他自治体でも行っている高齢者や障害者の施設でのPCR検査を実施できないか。

答 保健所設置市の本市は、陽性者発生時には濃厚接触者の特定と幅広い検査を実施できており、高齢者施設等での発生時も関係者すべてを検査することとしている。施設等での社会的検査は医療資源への負担となるため、現時点での実施は考えていない。今後とも動向を見据え、適切に判断していきたい。

問 本市の医療が崩壊し、救える命が救えなかつたということが絶対にないよう、市全体でコロナ対策に取り組まなければならない。そのために医療関係者と行政がしっかりと強く連携し、立ち向かうことが非常に重要だと考えるがどうか。

答 保健所を設置している本市の優位性をいかし、これまで対策を行ってきた。また、宿泊療養施設の都との共同運営や、正しい知識を共有するためのウェブセミナーの実施など、本市独自の取り組みを展開して



医療・高齢者施設・教育関係者向けに市独自に行うウェブセミナー

きた。感染拡大が続く中、市民が安心できるよう、救急医療体制を含め、医療崩壊を防ぐ万全の体制を整えていく。

コロナ禍での健康寿命 延伸の取り組みは

問 コロナ禍で高齢者が自粛生活を余儀なくされる中、交流や体を動かす機会が減少し、気力や体力が徐々に失われ、介護の重度化等につながる懸念がある。健康寿命延伸のための取り組みは。

答 今回、後期高齢者に対し、コロナ禍における影響のほか、重度化防止等を図ることを目的とした調査を実施した。その結果を踏まえ、生活機能が落ちる前に、適切なタイミングで支援を実施する予定である。また、十分な感染対策を取りつつ、健康づくり活動を市民団体等と連携して取り組んでいく。



←質問者の発言の題目などはこちら

一般質問者 (発言順)

美濃部 弥直 生	星野 直美	木田 祐彩	岩田 佳樹	前田 山奈緒	西川 村	川山 奈緒美	12月3日	石井 宏和	相澤 耕太	伊藤 忠之	鈴木 玲央	望月 翔平	日下部 広志	久保井 博美	12月2日	村松 喜徹	森原 幸彦	梶原 真彦	西室 喜美	若尾 勇次	鈴木 林修	若林 次修	12月1日	富永 純子	小川 秀司	及川 賢一	中島 正寿	青柳 有希子	萩田 米蔵	渡田 功禎	岸口 田典	11月30日
----------	-------	-------	-------	--------	------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	--------

環境

紙おむつのリサイクルを

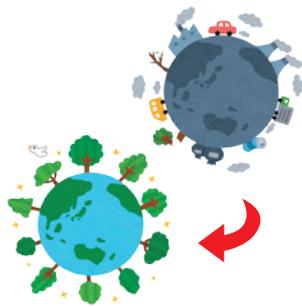
問 本市では、使用済み紙おむつを清掃工場で焼却しているとのことだが、今後の紙おむつの処理に対する考えは。

答 高齢化の進展に伴い、増加が見込まれる紙おむつは、リサイクルに向けた取り組みが必要と考えている。処理や資源化の方法を調査・研究するとともに、今後も最新の技術動向や国の動きを注視していく。

温室効果ガス「ゼロ」に向け

問 2年10月に首相が温室効果ガス排出量の実質ゼロを2050年までに実現すると表明した。本市の取り組みは。

答 地球温暖化対策の拠点であるクールセンター八王子等を活用し、地域に根差した普及啓発を行っていく。また、み



資源循環とエネルギーの有効活用で、地球環境にやさしいまちを

どりのカーテンコンテストなどによる身近な緑の普及や、里山の保全を行う人材を育成し、二酸化炭素の吸収源である緑を保全するなど、地球温暖化対策を推進していく。

問 本市の温室効果ガス排出量削減の目標値を、国や都が掲げている方向に引き上げるべきではないか。

答 地球温暖化対策は、世界的に行っていく必要がある。国が示した温室効果ガス排出量実質ゼロの実現に向け、市民や事業者と連携して、本市が貢献できる取り組みを着実に推進していきたい。

まちづくり

交通空白地域の解消は

問 超高齢化が進む中、高齢者などの移動困難者に対する支援は喫緊の課題である。交通空白地域の解消に向けた本市の取り組みは。

答 はちバスの運行や路線バス、地域交通事業により対策を講じている。今後も地域のニーズに合わせ、バス事業者へ新規路線の開設を働き掛けるとともに、本市もはちバス等で解消に取り組んでいく。



地域の实情に合った交通で、地域の未来を守る(打越町旭ヶ丘団地の乗合タクシー)

問 元年10月から実証運行が行われている打越町旭ヶ丘団地の乗合タクシーは、地域における有効な移動手段と考える。継続させるための課題は。

答 乗り合って利用するため、利用者同士の情報共有が必要になることが課題である。このため、今後、ICT技術などを活用し、利用環境の充実に取り組んでいきたい。

市民の命を守る 道路整備の考えは

問 他市で道路の陥没事故が発生したが、道路の空洞に対する本市の調査は。

答 25年度から、第三者被害の影響が大きい重要路線に対し、探査車での調査やスコップによる空洞状況の確認を行っている。元年度までに219カ所の空洞反応を確認し、33カ所

を補修、39カ所は経過観察としたが、他は隙間程度で補修対象にならないものであった。

問 都市計画道路は、真に必要な路線に集中投資を行い、早期に整備すべきである。災害リスクの低減や救急搬送能力の向上など、市民の命を守る道路整備事業への考えは。

答 災害リスクの低減や地域事業は、必要な投資として積極的に行うべきと考えている。コロナ禍の中でも、今後のまちづくりにおける重要な社会基盤であり、ふかんの・継続的に事業を展開していく。

徹底した事業精査で 未来に向けたまちづくりを

問 来年度以降の大幅な減収が予測される中、本市の次なる100年を見据えたまちづくりには、徹底した事業精査を行い、有用性や費用対効果を検証し、整備計画を確立することが重要ではないか。

答 市民生活に必要な不可欠な事業などは、計画的かつ継続して進めていくことが肝要である。市民の命や財産を守り、安全・安心なまちづくりを進めるため、真に必要な事業を見極め、市の将来像を描く長期ビジョンの策定につなげていく。

議会活動レポート

第4回定例会以外にも、委員会などさまざまな議会活動を行っています。

委員会名等	実施日	内容	案件・視察事項など
議会運営委員会	11/26	会議	新型コロナウイルスへの対応を考慮した第4回定例会の運営
総務企画委員会	11/18	会議	長期ビジョンの策定方針等について
文教経済委員会	10/26	視察	不登校の児童・生徒のための公立小中一貫校の取り組み(高尾山学園) 日本遺産ストーリー「霊気満山 高尾山～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」に関連する構成文化財について(高尾山薬王院・八王子城跡・(有)オカド染色工業)
			 ストーリーの構成文化財への理解を深め、魅力を再確認(オカド染色工業)
厚生委員会	11/19	会議	AEDのコンビニエンスストア等への設置 「ソーシャル・インパクト・ボンド導入モデル最終報告書」について など
都市環境委員会	11/19	会議	委任専決処分 ^{かし} の報告 (市道管理瑕疵による普通自動車損傷事故に係る損害賠償の和解)
交通対策特別委員会	11/9	視察	社会福祉法人 悠々会の高齢者送迎事業「町田市鶴川団地活性化プロジェクト」の取り組み(町田市)
			 電動カートの運行を交通対策の参考に
次世代支援・高齢社会対策特別委員会	11/9	視察	若者総合相談窓口の運営(若者総合相談センター) 調布市子ども・若者総合相談支援事業(調布市)
			 明神町に開設した若者総合相談センターで
議会改革を推進する会議	11/5	視察	本会議や委員会におけるタブレット端末等の活用(立川市)
	12/9	会議	2年度の議会報告会について 議会のICT関連の検討
特別委員会設置基準及び所管事務調査ガイドライン検討会議	11/20	会議	特別委員会設置基準及び所管事務調査ガイドラインの検討結果(答申)について

👉 2つの会議の取り組みについては、10ページにも掲載していますので、ご覧ください！

■政治家の寄附の禁止
政治家が選挙区内の人や団体にお金や物を贈ることは、法律で禁止されています。また、有権者が寄附を求めるとも禁止されています。



■詳しくは会議録で
本紙掲載の質疑の詳細など、本会議や各委員会の発言を掲載した「会議録」や「委員会記録」は、市役所の議会図書室や市政資料室、各市立図書館などで閲覧できます。また、市議会ホームページからも閲覧できますので、ご利用ください。
なお、2年第4回定例会の本会議の会議録は、2月中旬までに完成予定です。



■会議の様子はホームページで
本会議などの模様は、市議会ホームページで生中継しています。また、録画中継は会議終了後、おおむね7日後から配信します。



市議会からのお知らせ

令和2年度 議会報告会 @ひびき



令和2年度議会報告会は、新型コロナウイルスの影響により、例年のような対面での開催を見合わせ、メッセージ動画と本紙を活用した発信にすることとしました。
ここでは、本市議会が取り組んでいる議会改革や新型コロナへの対応などについて、主なものを掲載しています。

※10ページは議会改革を推進する会議の議員が作成しました。

本市議会が取り組んでいる議会改革

～今年度は2つの会議を設置～

開かれた議会に向けた改革の一環として、平成26年度に議会基本条例を施行し、29年度には、条例検証のために市議会内部及び外部の専門家や大学生による評価を実施しました。

検証による課題の解決に取り組んでいくため、令和2年度には、議長の諮問機関として、「特別委員会設置基準及び所管事務調査ガイドライン検討会議」及び「議会改革を推進する会議」を設置しました。



議会基本条例

条例施行後の主な改革

- ☆一般質問に一問一答方式の導入
- ☆委員間討議の導入
- ☆議会報告会の開催
- ☆傍聴席へのモニター設置
- ☆議会への関心度等の調査の実施
- ☆委員会視察報告書のHPへの公開 など



さらなる改革に向け議論

この会議では、議会基本条例において定めている議会改革を推進するため、条例の検証による課題をはじめ、議会報告会の開催及びそのあり方、ICT技術を活用した議会運営についての検討を行いました。
会議における検討の結果、今年度の議会報告会については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し、議会の広報紙である本紙を活用して、報告を行うことにしました。



議会改革を推進する会議

また、より市民の皆さまに身近で、開かれた議会としての役割を果たせるよう、情報公開の拡充、広聴広報機能の向上、調査活動の推進に向けての方針を定めました。さらに、各議員の活動支援、議会における経費削減の取り組みから、タブレット端末などを用いたICT技術の活用について、答申をまとめました。
今後、さらなる議会改革に向けて、引き続き取り組んでまいります。

座長 鈴木玲央



議長に答申を提出

この会議では、市議会の常任委員会で政策立案や提言を行うことを目的とした新しい仕組みを作りました。議員個人や党派等で行政に対して提案や要望を行うこれまでの手法とは異なり、各議員が所属する常任委員会でテーマを決め、「所属する会派を超えて、常設的に、十分な時間をかけて」市民福祉の向上に向け、議論を深める仕組みであり、3年度から始める予定です。



特別委員会設置基準及び所管事務調査ガイドライン検討会議

議論がまとまらず政策立案に至らないケースもあるかもしれないですが、委員同士の議論を通じて「市民意見の反映に資する議会」の醍醐味を、より感じていただけるのではないかと考えています。
また、特別委員会についても、必要な時に必要なテーマのみを集中して審査・調査するために、市議会としての設置基準を一新しております。

座長 馬場貴大





新型コロナウイルスに対する議会活動



演壇に飛沫防止のためのアクリル板を設置



検温の実施など、傍聴の方にもご協力いただきました



第2回定例会では議場が密にならないよう、議員が他の会議室から参加するなど、出席者を調整

コロナ禍の中で、市議会としても密を避けるための取り組みや、議場への出入り際には消毒を実施するなど、対策を万全に行いながら、より良い八王子市を目指して議論を行っています。

これまで新型コロナウイルス関連を中心とした補正予算議案が6回にわたって市長から提出され、議論の結果、可決・承認し、さまざまな施策が実現しています。



議場に入る際には手指を消毒

各議員がさまざまな観点から質問等を行っています。インターネットでは会議録を掲載していますので、ご覧ください。

市議会だより「ひびき」では、これまでの市議会の対応などを掲載しています。

市議会ホームページでは新型コロナウイルス関連の掲載号をはじめ、過去の発行号もご覧いただけます。



10月7日、東京医科大学八王子医療センター感染症

10月 新型コロナ研修を実施

科診療科長の平井由児氏、陵北病院院長の田中裕之氏を講師に招き、市内での新型コロナウイルスの感染状況や予防策などについて、話を聞きました。医療現場からの生の声を聞き、ウイルスに対する正しい知識や対処方法、PCR検査の有効性などを学びました。市にとって、どのような情報発信が必要なのか、どのような取り組みが有効なのか、議会として、しっかりと議論し、今後につなげてまいります。



市民生活に直結する新型コロナウイルス感染症関連の現状を市議会として把握

7月 市議会協議会を開催

市民生活に直結する新型コロナウイルス感染症関連の現状を市議会として把握するため、7月28日に市議会協議会を開催しました。市議会協議会は、本会議や委員会よりもスピーディーに開催が可能であり、全議員が情報共有できるため、市議会から市側に出席依頼し、説明を求めました。

当日は、新型コロナウイルス感染拡大の現状について健康部長より報告を受けたほか、感染症関連情報の公開のあり方、宿泊療養施設の感染予防対策など、質疑応答を行いました。市側のコロナ対応を考慮し、1時間程度で終了しました。

次回の定例会の主な予定

令和3年(2021年) **第1回定例会** 会期：2/24～3/29

日	月	火	水	木	金	土
			2/17 招集告示日	18	19 議会運営 [◎]	20
21	22	23 天皇誕生日	24 開会日 議会運営 [◎] 本会議(ネット) 予算特(ネット)	25 総務企画 [◎] 文教経済 [◎]	26 厚生 [◎] 都市環境 [◎]	27
28	3/1	2	3	4 議会運営 [◎] 本会議(ネット) 予算(代表質疑等)	5 本会議(ネット) (委員会審査報告等)	6
7	8	9	10 予算特(ネット) (総括質疑)	11	12 総務企画 [◎] 文教経済 [◎]	13
14	15 総務企画 [◎] 文教経済 [◎]	16	17 厚生 [◎] 都市環境 [◎]	18	19	20 春分の日
21	22	23 予算特(ネット) 議会運営 [◎]	24	25	26 本会議(ネット) (予算採決等)	27
28	29 最終日 本会議(ネット) (一般質問)	[◎] ：委員会 予算特：予算等審査特別委員会 [◎] ： // 分科会 ネット：市議会ホームページで中継				

- 会議(議会運営[◎]を除く)は、10時から開会します。
- 閉会中の議会日程については、市議会ホームページをご覧ください。
- 問い合わせ：議事課

緊急事態宣言下における議会活動

新型コロナ感染拡大防止のため、国が緊急事態宣言を発出しました。これに伴い、本市議会も予定していた活動について検討を行っています。

市議会協議会を臨時開催

コロナ禍の中での議会審議を円滑に行うため、1月26日に市議会協議会を臨時に開催し、市内の新型コロナ感染拡大状況について、市側に報告を求め、現状を確認しました。

委員会の視察を中止

1月中旬から2月上旬に予定していた、市内や他市への常任委員会等の視察を中止しました。

特別委員会は開催

2月上旬に予定している特別委員会は、さらに3密に留意し、開催する予定です。

第1回定例会の運営方法を検討

2月24日から開催予定の第1回定例会の議会運営について、感染拡大防止のため、日程や実施方法などを検討しています。決定次第、市議会ホームページでお知らせします。

議場コンサートを中止

2月24日に予定していた議場コンサートの開催を中止しました。

会場・日時

八王子駅南口総合事務所

2月2日(火)～2月10日(水)

午前8時30分～午後7時(土・日曜日は午後5時まで)

市役所1階市民ロビー

2月16日(火)～3月12日(金)

午前8時30分～午後5時(土・日曜日、休日を除く)

皆さまの力作を展示
本紙の表紙を飾る皆さまからの応募写真。今年も力作ぞろいの写真を展示します。

ひびき 表紙写真展

年間最優秀賞も決定
2年に発行した本紙の表紙に採用された4作品の中から、川口町在住の三島邦夫さんの「秋の長池見附橋」が年間最優秀賞に決定しました。



次号も

表紙写真を募集

◆募集内容
春・初夏をイメージした市内の風景など、第1回定例会号(5月1日発行予定)の表紙にふさわしい写真
◆募集期間
3月29日まで

詳しくはこちら↓



問い合わせ：庶務調査課



ホームページはこちら↓

